

知事コメント

令和3年11月4日(木)

今週月曜日(11/1)から「リバウンド防止と社会経済活動の両立期間」が始まりました。

県民の皆様には、感染のリバウンドを防止しながら社会経済活動を両立していくために、引き続き基本的な感染防止対策の徹底をお願いさせて頂いております。感染の急拡大の引き金となる集団感染を避けるため、会食に関して4人以下、2時間以内などの一部の要請については継続しておりますので宜しくお願い致します。

そして、ワクチン接種についてですが、県は基本方針により「10月末までに全人口の70%にあたる104万人以上への1回目の接種を目指す」こととなっております。

10月末時点の1回目接種者は100万2,439人、県内全人口の67.5%と、目標には2.5%届いておりませんが、県内の1日あたりの接種人数は、9月1週目の約9,000人から直近は約1,200人と減少しており、現時点で希望している多くの方に接種が行えたものと認識しております。

他方、感染症の流行期である冬を迎えるにあたり、医療提供体制の維持の為にはワクチン接種が重要となります。直近でもワクチン未接種者の再感染事例が確認されており、沖縄県疫学統計解析委員会の分析によりますと、9月、10月に陽性となった6,908人のうち82.4%がワクチンを未接種という報告もあったところです。

県としましては市町村と連携し、継続して接種体制を確保することや、未接種者が接種を積極的に検討できるような広報活動が重要であると考えております。

市町村においては、11月以降個別接種を中心に接種を継続することになっておりますが、10月末時点で10代及び20～39歳の1回目接種が60%を下回る市町村も認められます。県としまして、ワクチン接種の効果等の情報を提供しながら、接種率の低い地域については積極的な取り組みを依頼してまいります。

積極的な取り組みとしまして、那覇市では、11月7日(日)にサンエー那覇メインプレイスにおいて(ファイザー)ワクチン接種が行なわれます。那覇市民の方は接種券なしで接種が可能であるほか、接種券を持参していたければ、その他の市町村の方も接種が可能となっております。

県におきましても今後接種を希望する県民の皆様に接種機会を提供する観点から、10月31日を期限に終了した広域ワクチン接種センターにおける1回目の接種について、11月12日(金)から再開することと致しました。目標の達成に向けて取り組むとともに、達成後も市町村と連携し接種体制の確保を図ってまいります。

予約につきましては、11月9日(火)から、県コールセンター(943-2993)での電話予約、または県ホームページ広域接種予約サイトで受付をいたしますので、まだワクチン接種を行っていない方は是非ご検討をお願いします。

また、経済対策としては、感染抑止対策を講じながら、域内需要喚起策である「おきなわ彩発見キャンペーン第4弾」を段階的に開始します。

同事業の実施にあたり、1部屋に5人以上で宿泊する場合や島をまたぐ旅行については、ワクチン接種の対象外である12歳未満を除き、原則として、ワクチン接種・検査陰性証明の活用を条件と致しました。

明日11月5日に招集告示を行い、11月9日に開会予定の臨時議会において、事業実施に係る予算をご審議いただきたいと考えております。

予算成立を条件として、同一島内の宿泊・旅行については11月15日に利用を開始し、島をまたぐ旅行については、その後の感染状況を踏まえ、11月26日を目処に、段階的に利用開始することを考えております。ただし、感染状況が悪化した場合には一時停止等を含め検討を行うこととしております。

来週の11月7日には立冬を迎えます。冬の到来はもうすぐそこです。沖縄県でも日に日に寒さが増してくる季節となっていきますが、ご自身やご家族、身近な人たちの体調に気を付けて頂き、人混みでのマスク着用や公共の場で手指衛生など基本的な感染対策の徹底をお願い致します。